

医療機器のコスト構造に関する 日欧比較調査

2009年7月

MRI株式会社三菱総合研究所

調査概要

調査時期: 2008年12月 ~ 2009年2月

回答企業: 13社(うち12社の企業データを報告に使用)
回答企業の特定保険医療材料市場における
シェアは約43%

調査内容: 内外価格差が取りざたされる製品に関する日、英、
仏、独におけるコスト構造の差異、及び、その要因
を調査

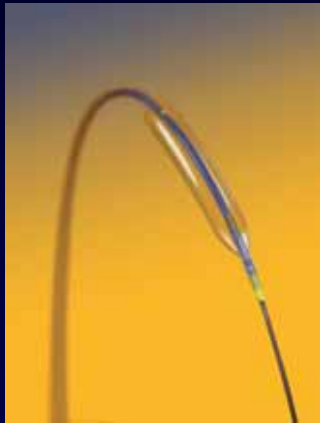
調査方式: 自記式調査

調査主体: 米国医療機器・IVD 工業会

調査協力: 日本医療機器産業連合会、欧州ビジネス協会

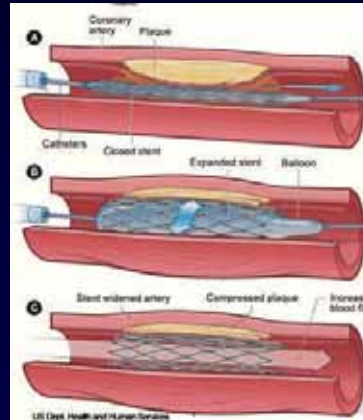
対象製品群

PTCAバルーン



画像提供: ポストンサイエンティフィック社

ベアメタルステント



出典: The McDougall Newsletter, September 2006, Vol.5, No.9

ペースメーカー

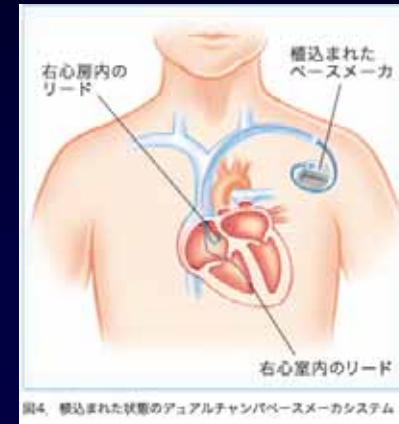


図4. 挿込まれた状態のデュアルチャンバペースメーカーシステム

画像提供: ポストンサイエンティフィック社

人工股関節



画像提供: ジンマー社

人工膝関節

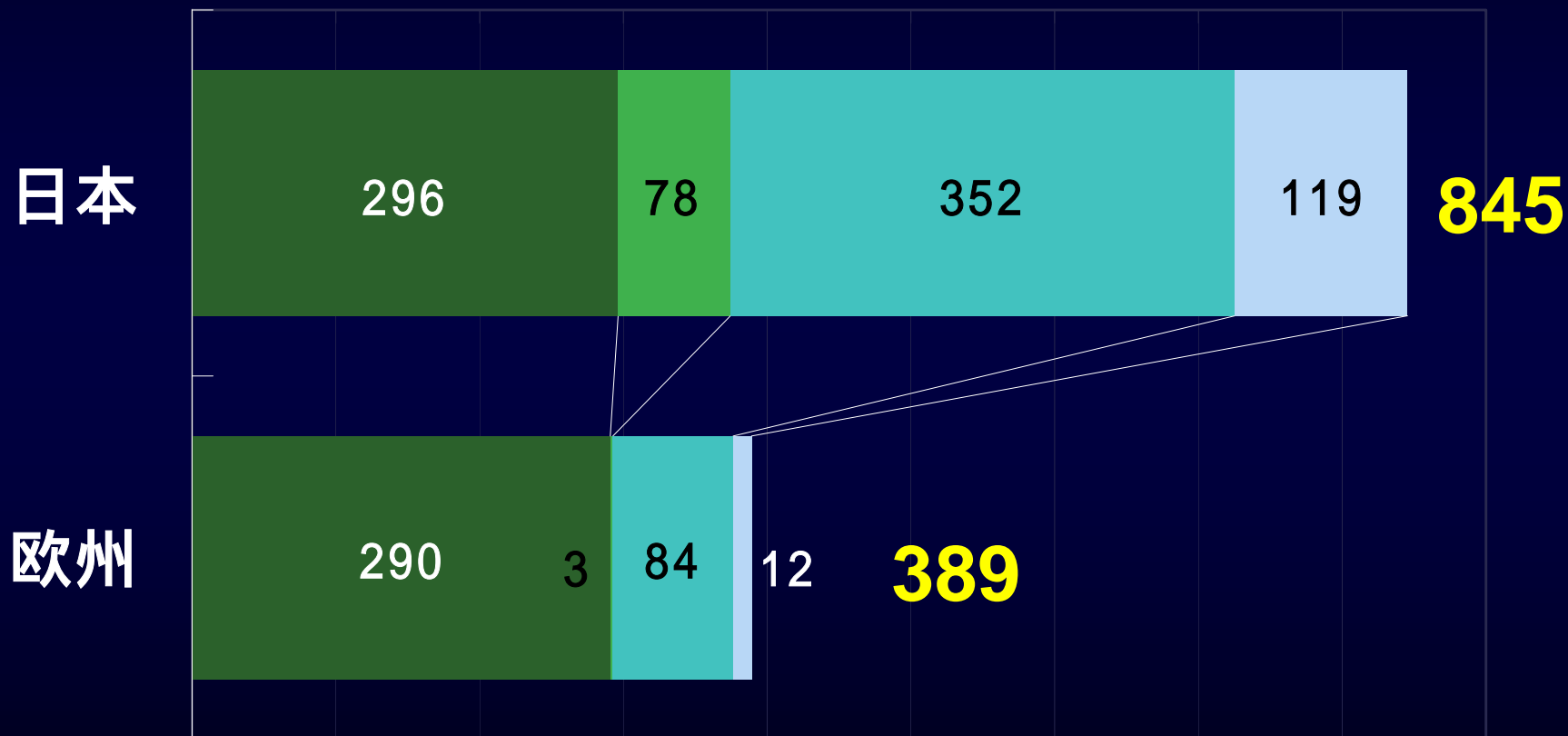


画像提供: ジンマー社

コスト構造比較 心血管系

*1 £ = ¥151.0JPY, 1€ = ¥136.0JPY

0 100 200 300 400 500 600 700 800 900



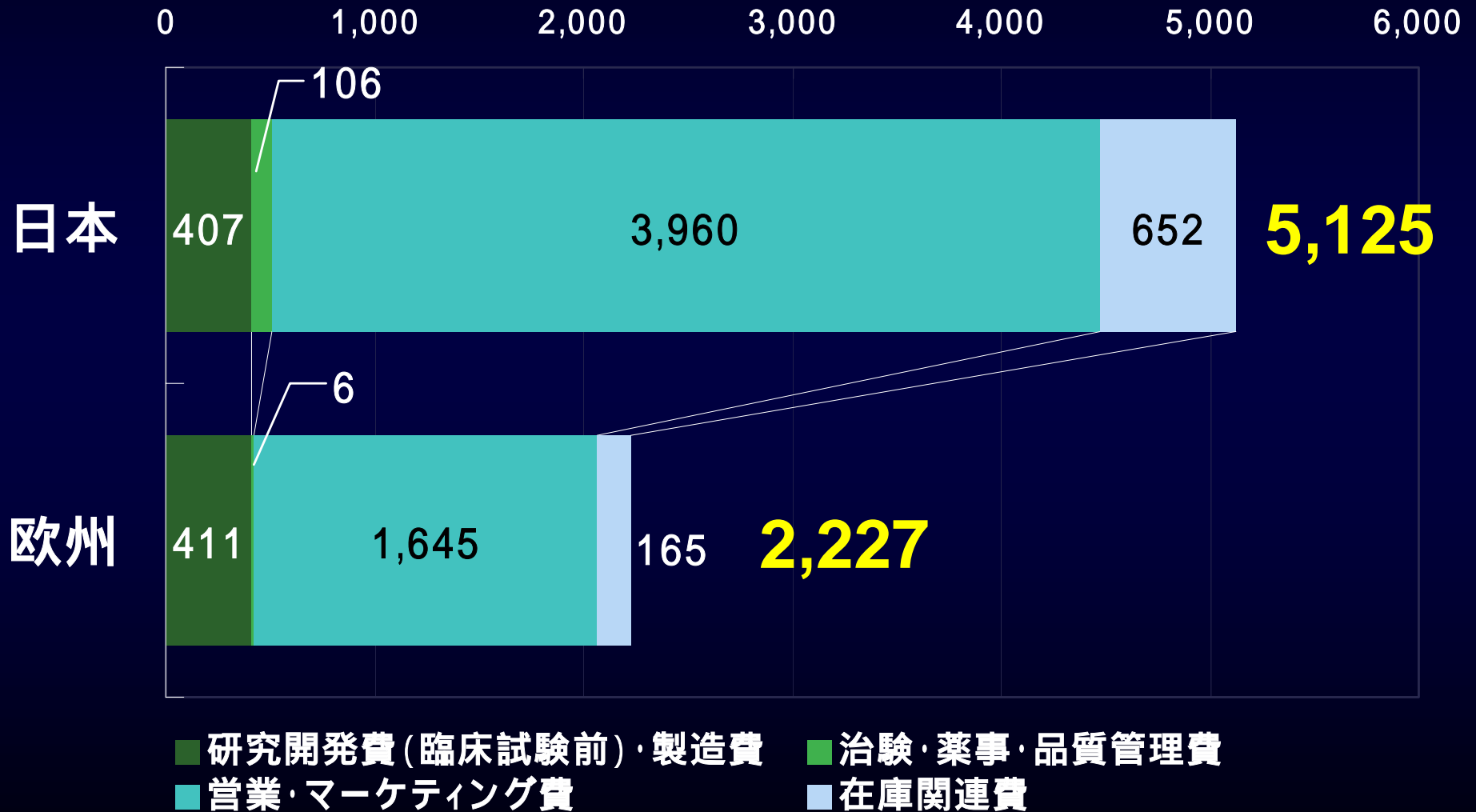
■ 研究開発費(臨床試験前)・製造費 ■ 治験・薬事・品質管理費
■ 営業・マーケティング費 ■ 在庫関連費

各国の製品1個あたり研究開発費(臨床試験前)を100とした。

コスト構造比較

整形外科系

*1 £ = ¥151.0JPY, 1€ = ¥136.0JPY



各国の製品1個あたり研究開発費(臨床試験前)を100とした。

薬事審査期間



PTCAバルーン + ベアメタルステント

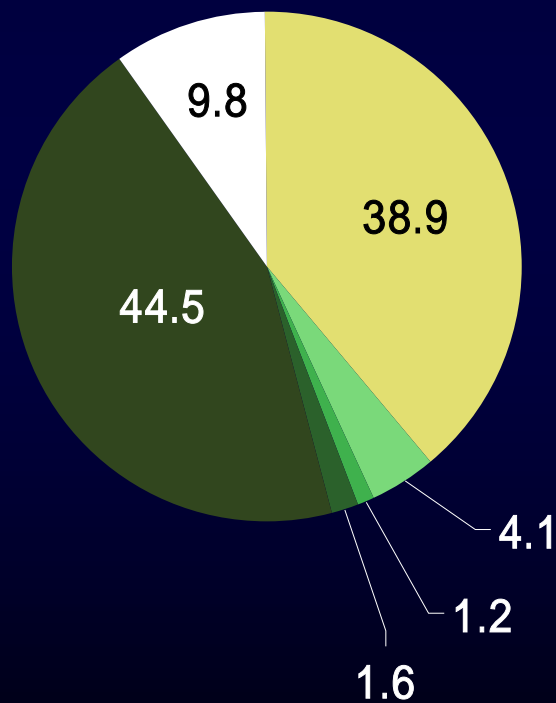


ペースメーカー

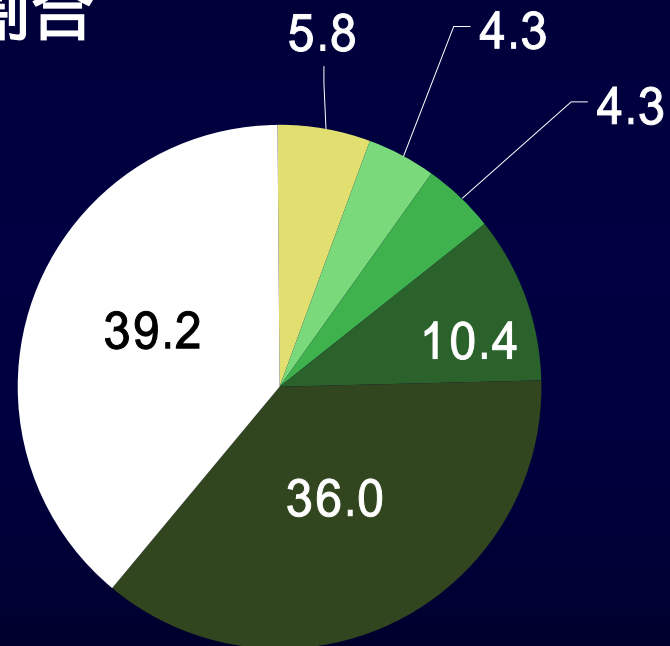
苦情件数及び販売数割合

PTCAバルーン + ベアメタルステント

苦情割合



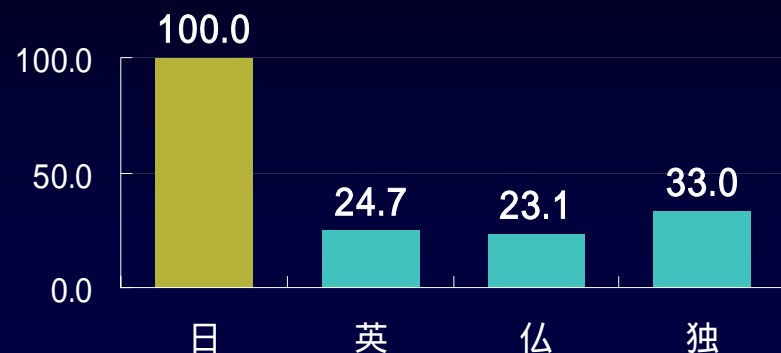
販売数割合



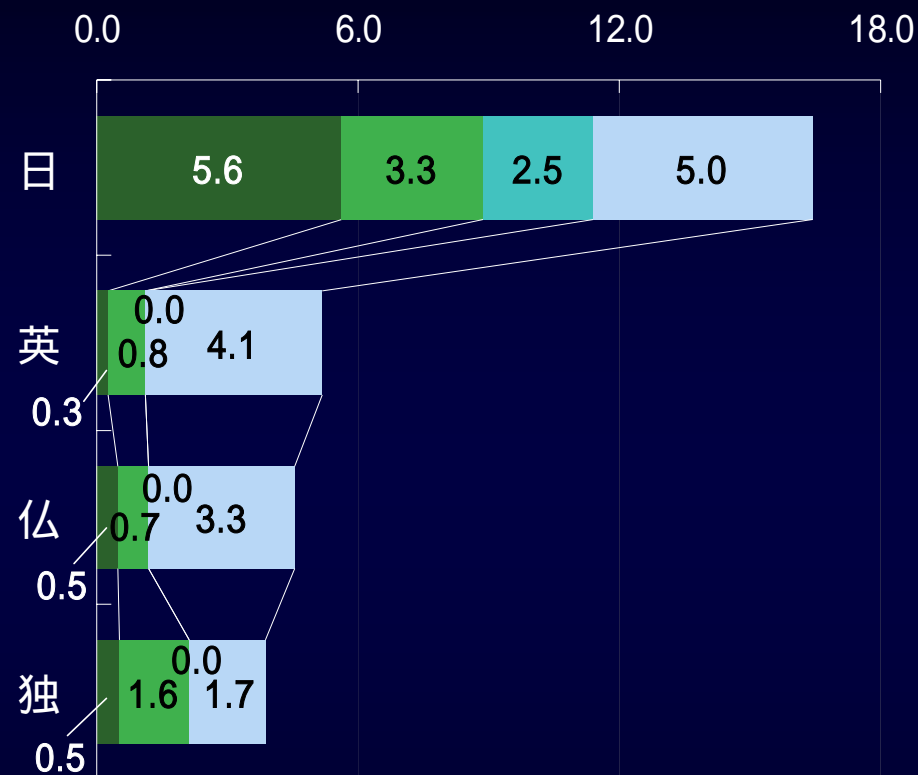
日 英 仏
独 米 その他

日 英 仏
独 米 その他

従業員構成



売上1\$あたり総従業員数
(製造関連を除く)

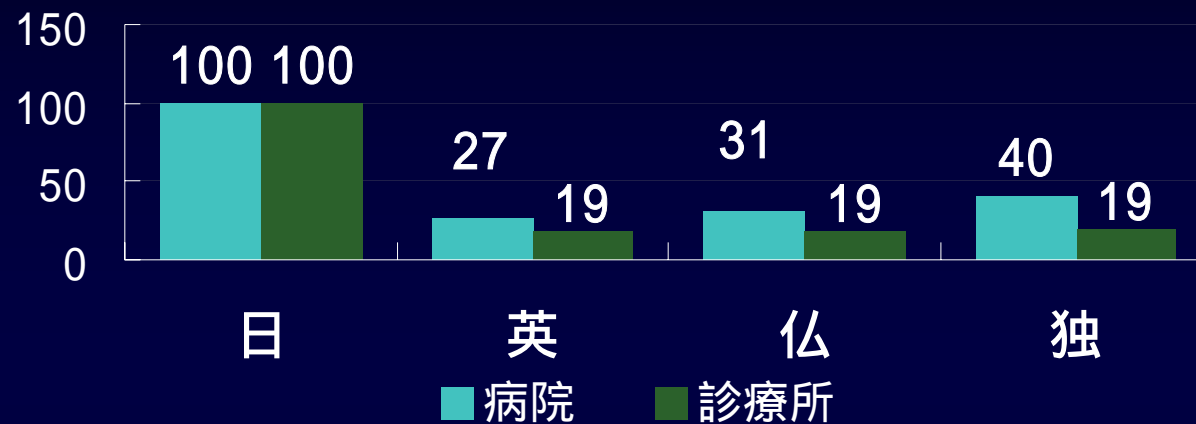


- うち、QA (Quality Assurance) のための要員数
- うち、RA (Regulatory Submission) のための要員数
- うち、CA (Clinical Affairs) のための要員数
- うち、ディストリビューションのための要員数

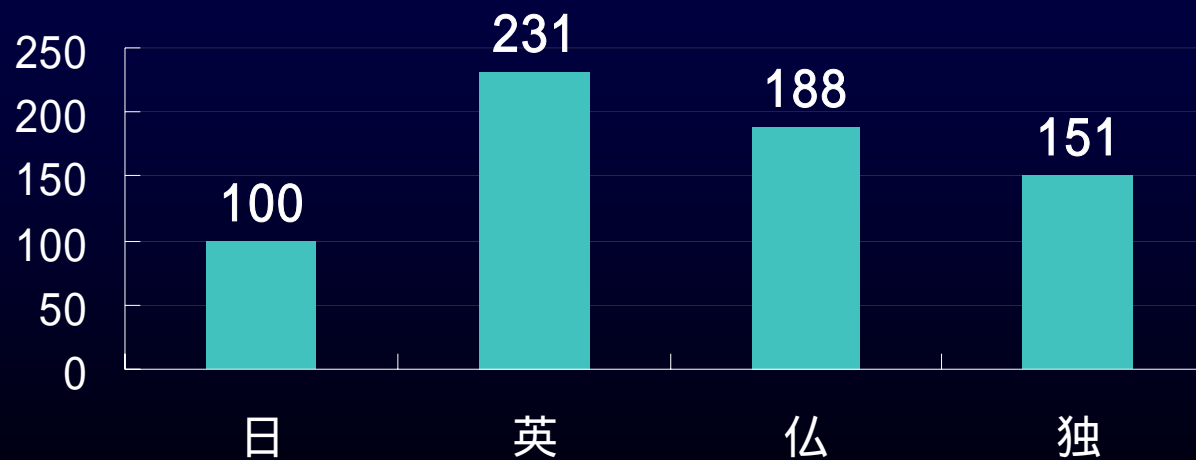
いずれも日本における総従業員数 (製造関連を除く) の値を100とした。

顧客医療機関数及び顧客医師数

顧客医療機関数



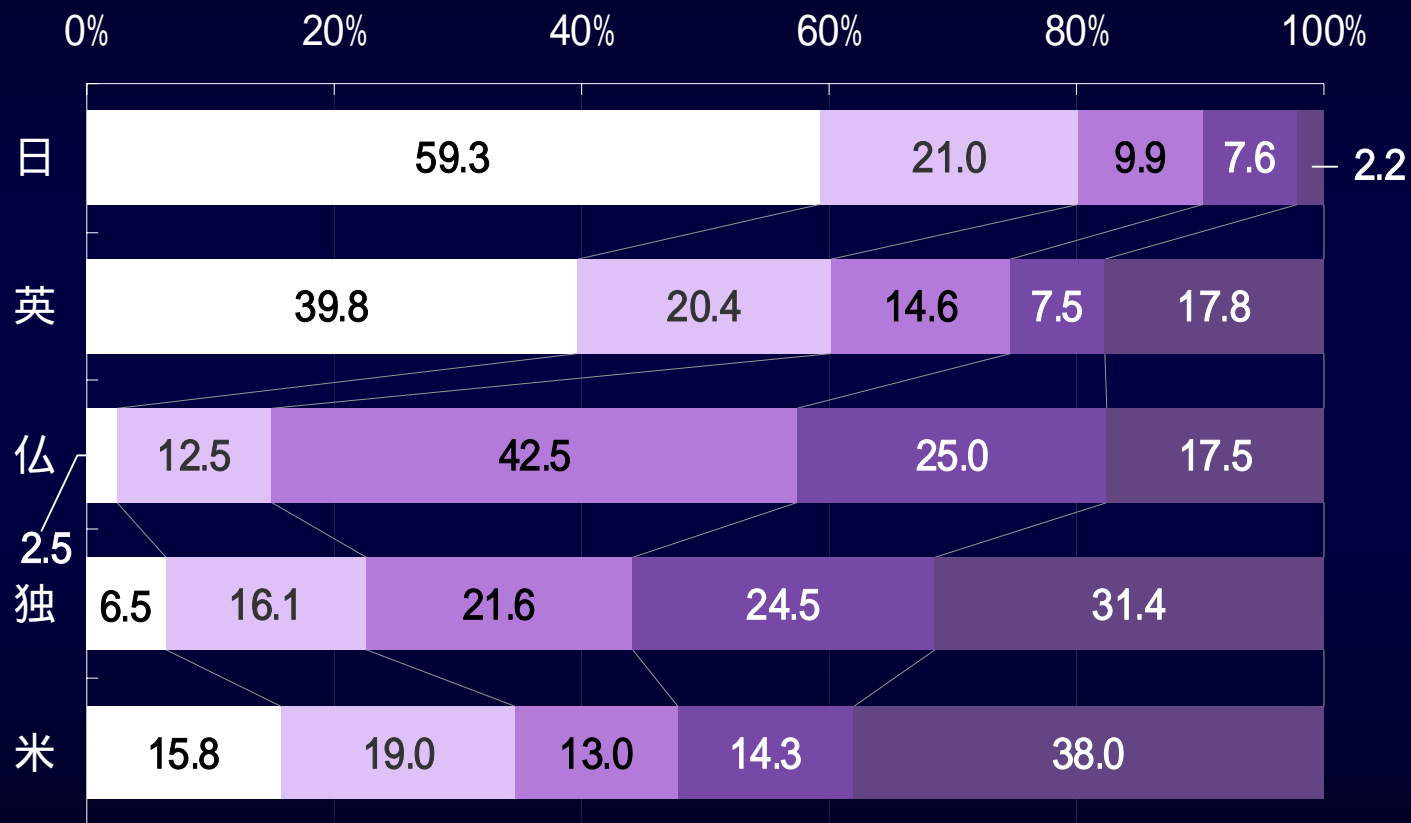
1病院あたりの顧客医師数



*日本における値を100とした。

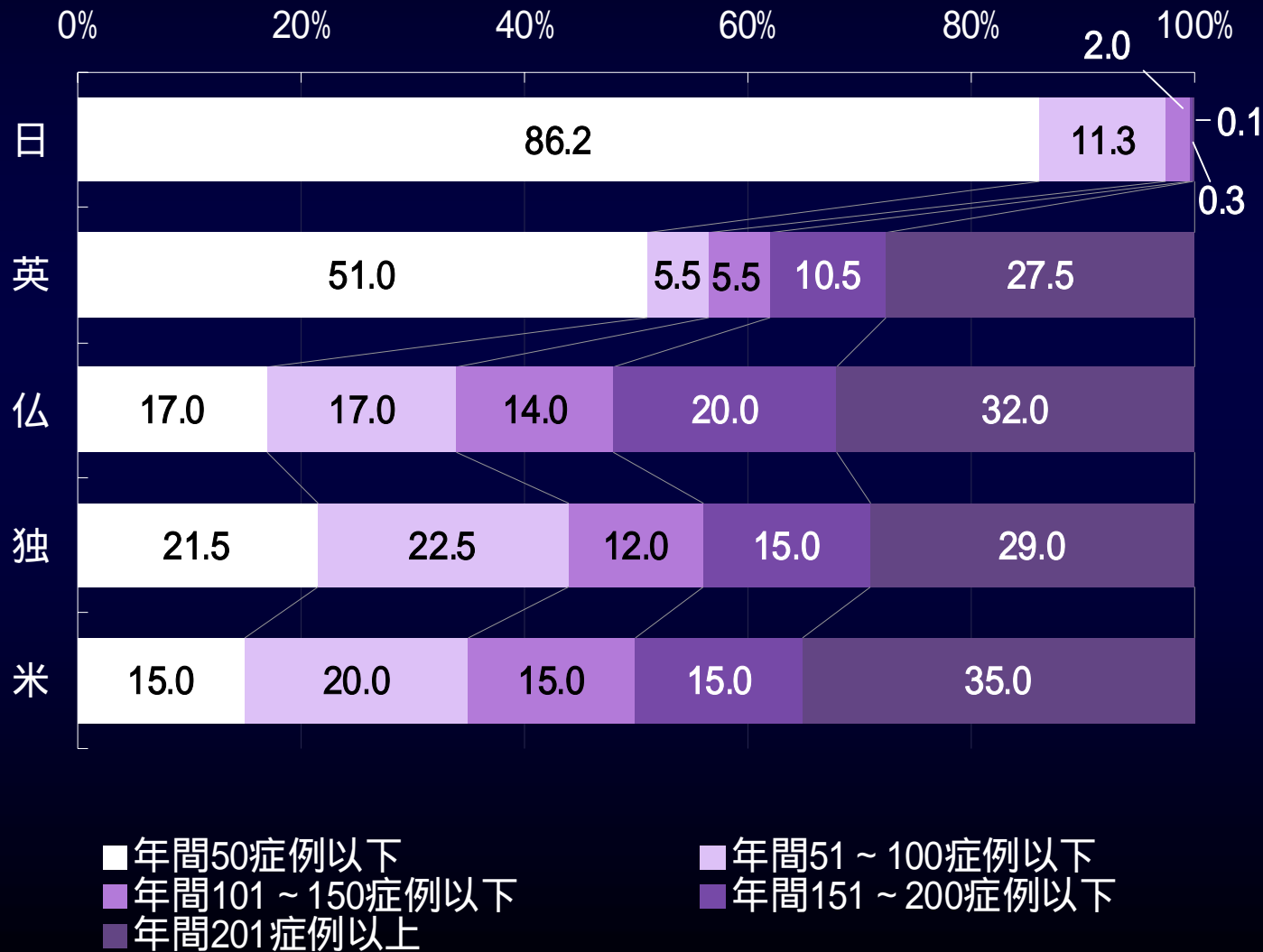
顧客構成

PTCAバルーン + ベアメタルステント



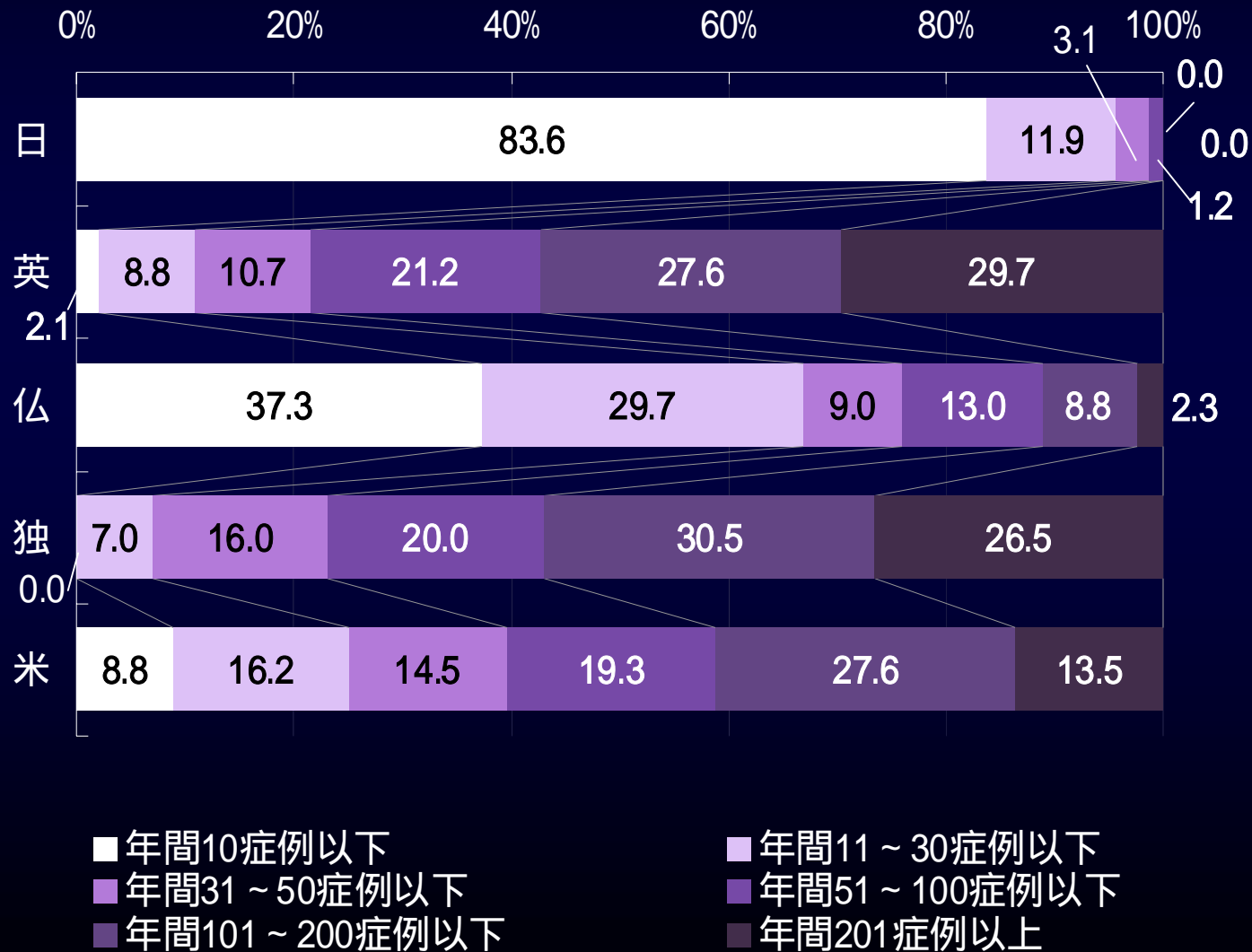
- 年間200症例以下
- 年間201 ~ 400症例以下
- 年間401 ~ 600症例以下
- 年間601 ~ 800症例以下
- 年間801症例以上

顧客構成 ペースメーカー



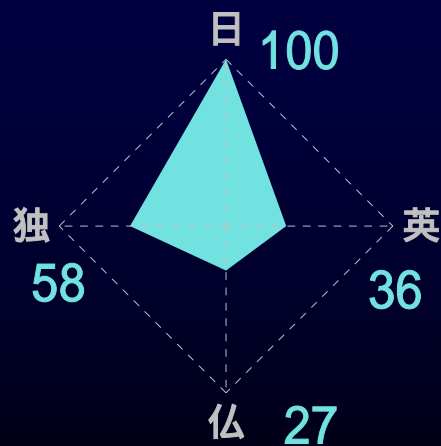
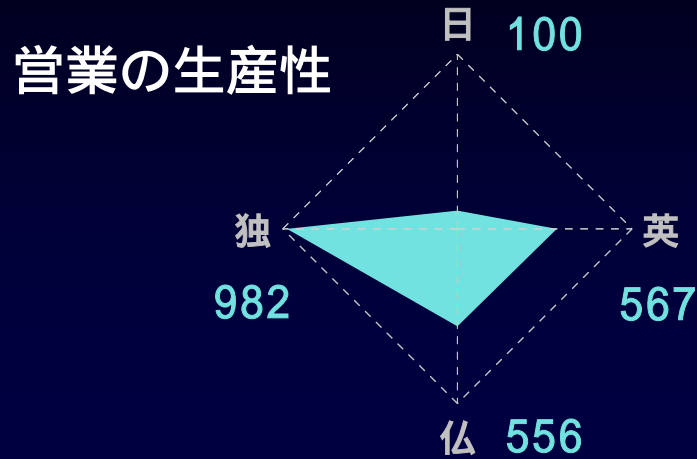
顧客構成

人工股関節 + 人工膝関節



営業の生産性

(1) PTCAバルーン + ベアメタルステント



顧客内シェア



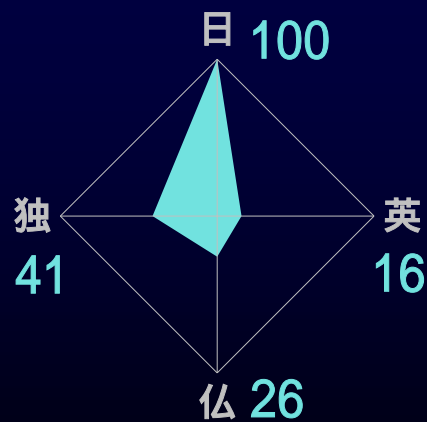
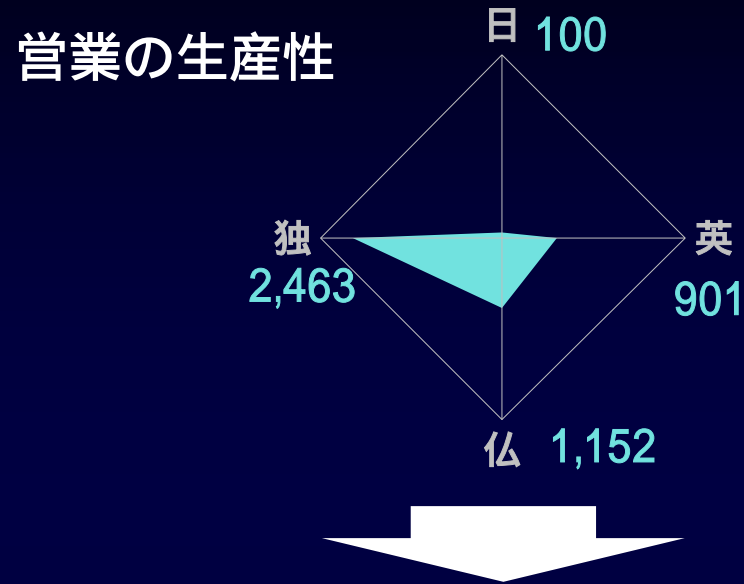
顧客医療機関
1施設あたり症例数



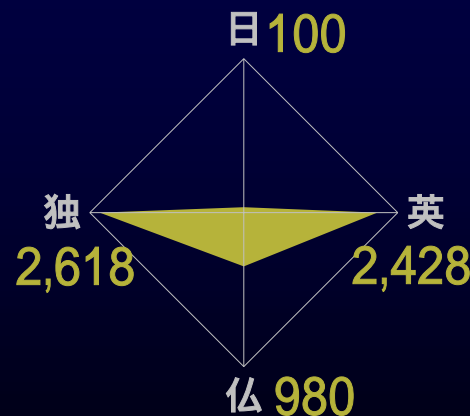
営業1人あたり
顧客医療機関数

営業の生産性

(2) 人工股関節 + 人工膝関節



顧客内シェア

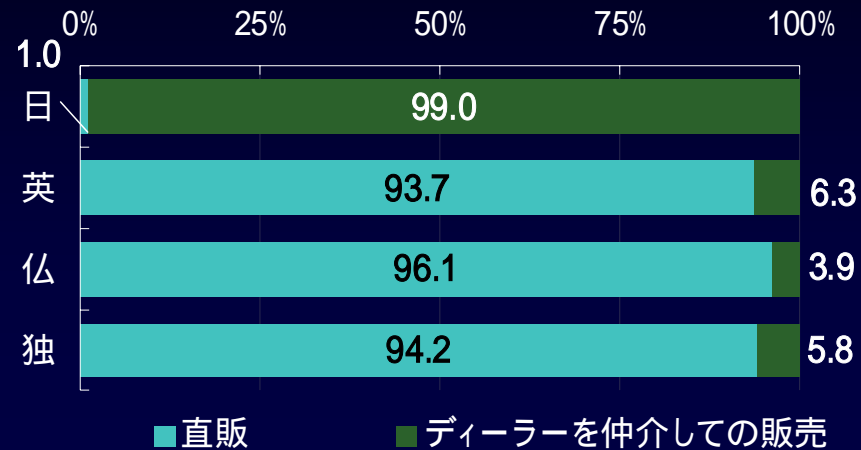


顧客医療機関
1施設あたり症例数

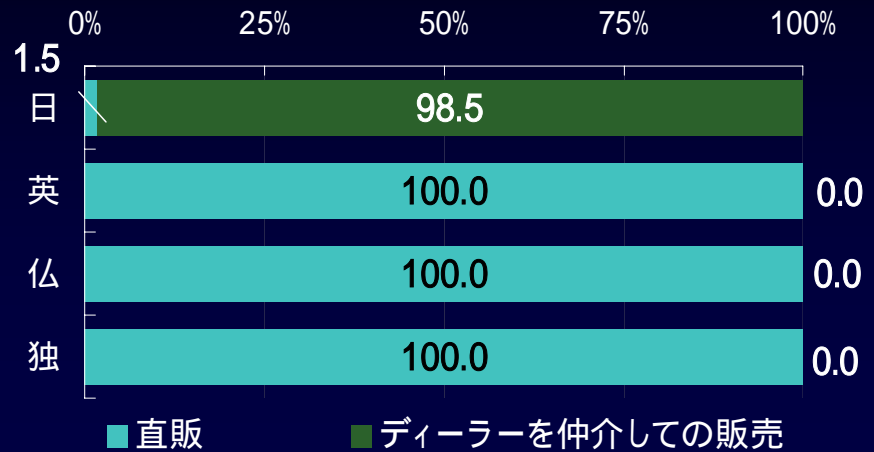


営業1人あたり
顧客医療機関数

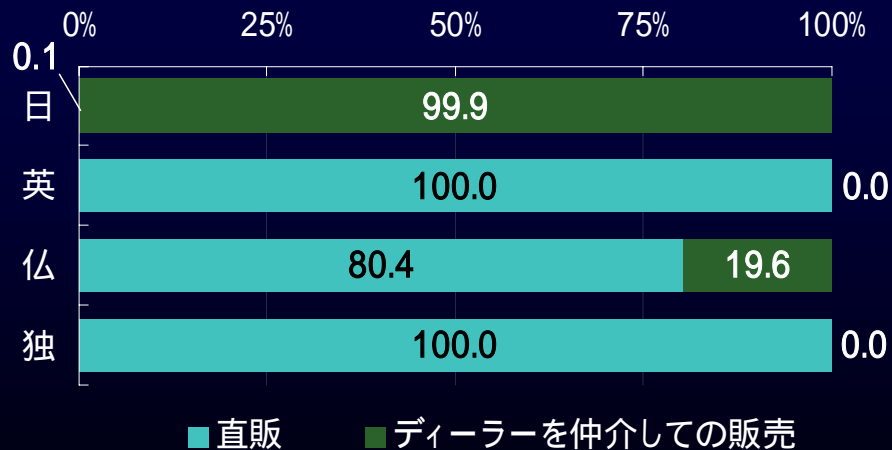
直販 / ディーラー経由の販売



PTCA バルーン + ベアメタルステント

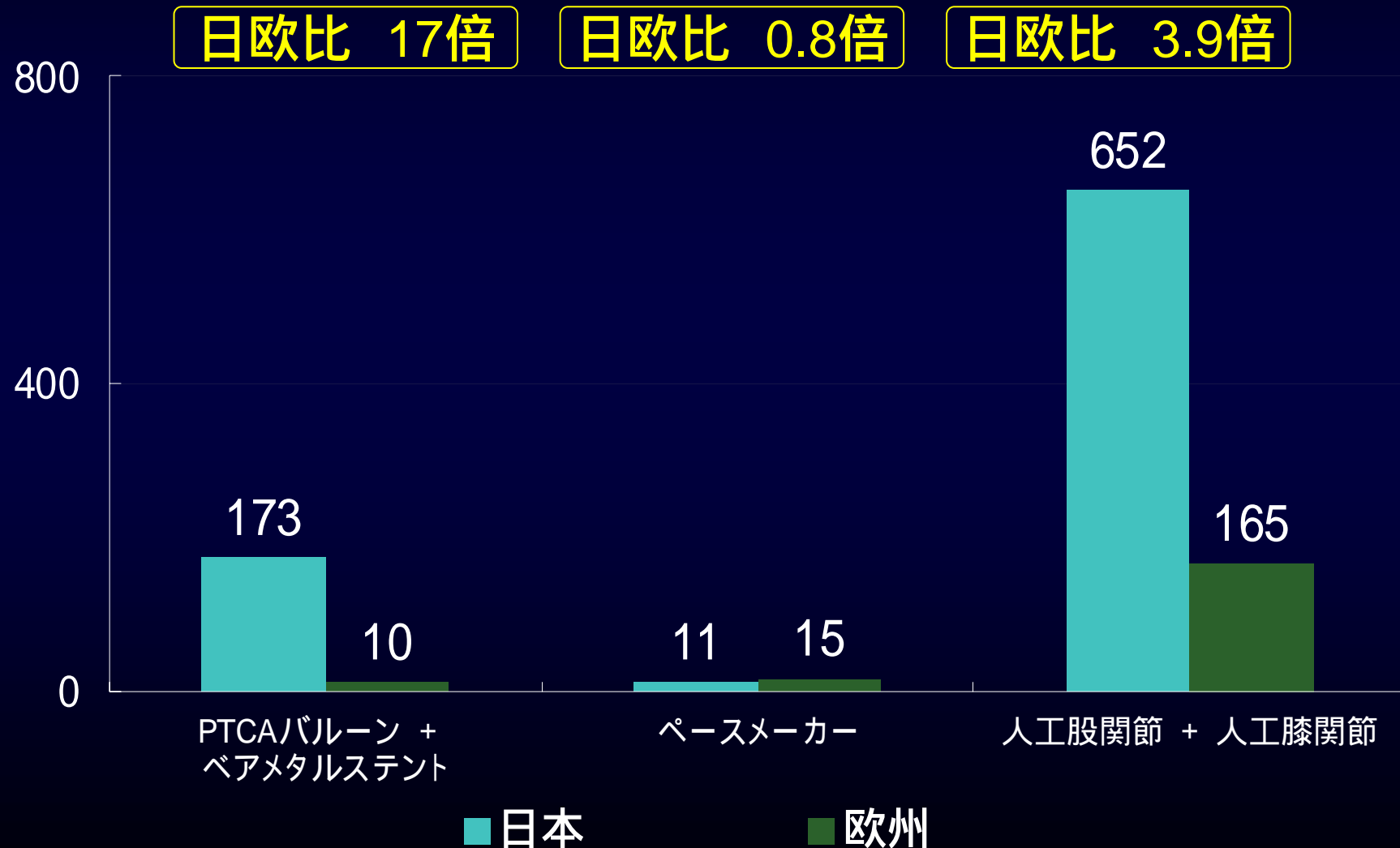


ペースメーカー

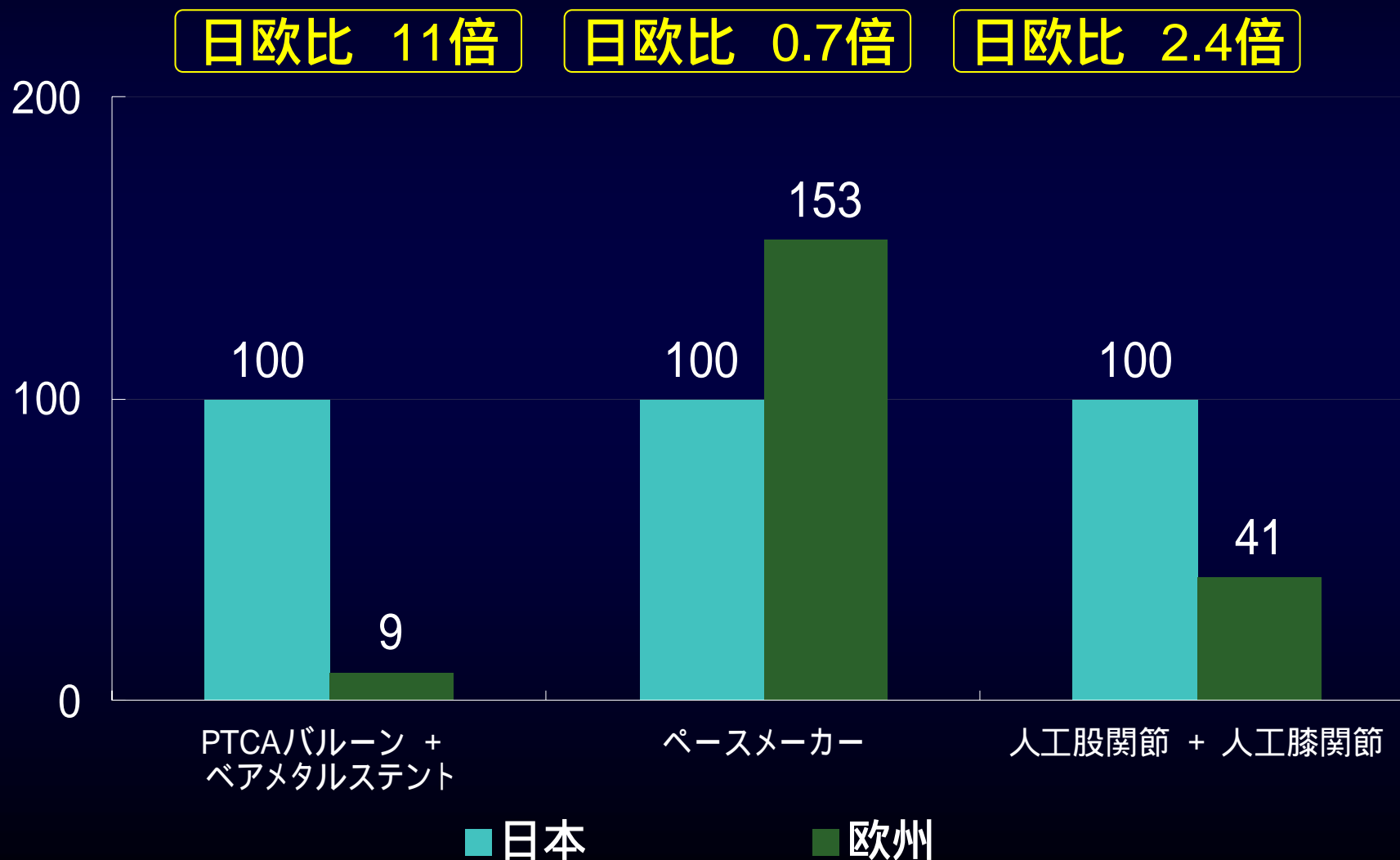


人工股関節 + 人工膝関節

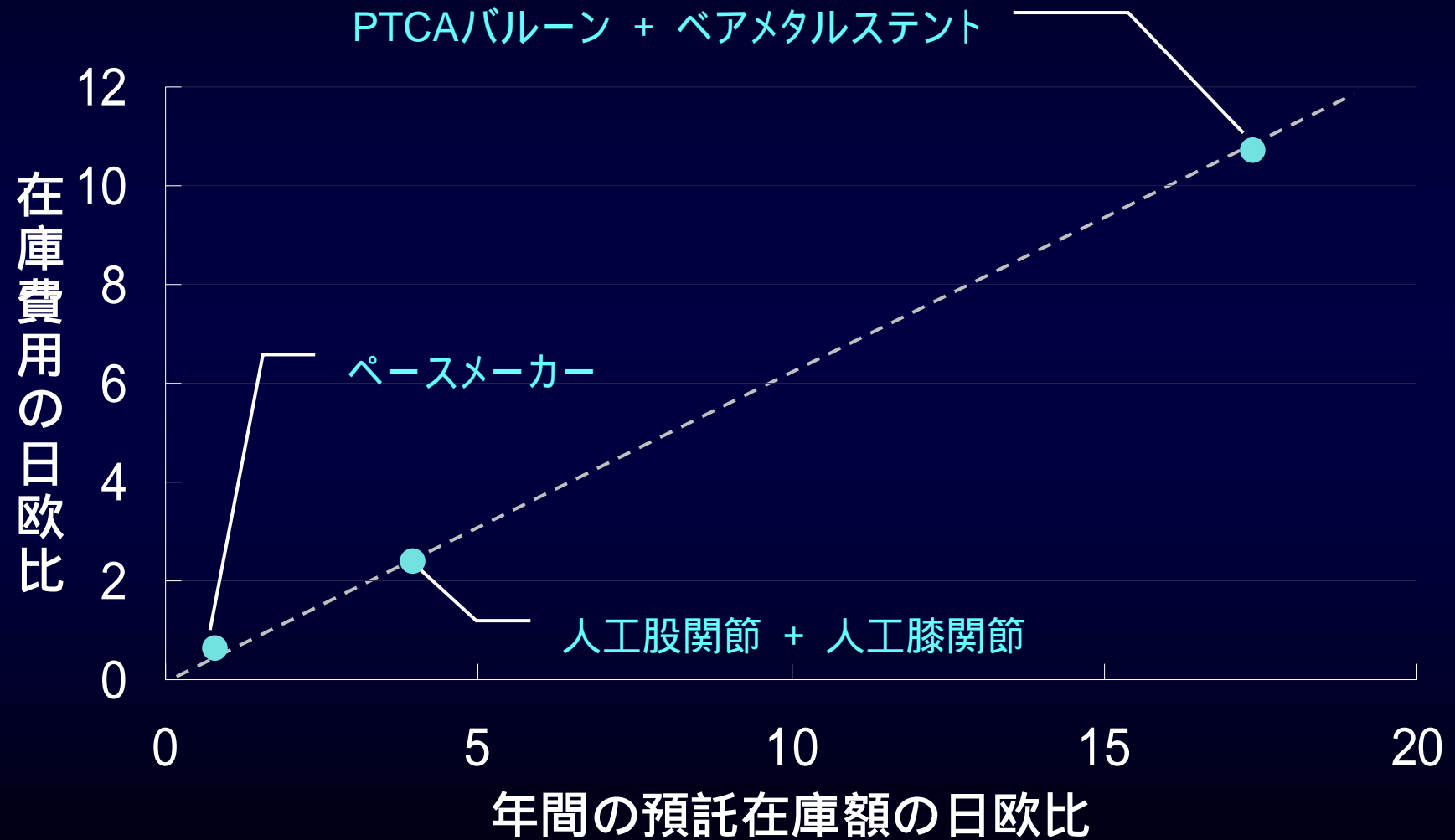
製品群ごとの在庫費用



年間平均預託在庫額 (1施設あたり)



在庫費用と年間預託在庫額の日欧比



まとめ

- 日本における経常費は心血管系について約2.2倍、整形外科系については約2.5倍、欧州よりも高い。
- コスト構造について見ると、日本では欧州と比較して、治験・薬事・品質管理費、営業・マーケティング費、在庫関連費のいずれも高く、中でも**営業・マーケティング費用**の差が大きい。
- 高コスト構造には以下の要因が関係していると考えられる。

治験・薬事・品質管理費

➡ 薬事審査期間が長い、日本固有の品質への高い要求

営業・マーケティング費用

➡ 医療機関数が多く医師が分散、症例数の集約度が低い

在庫関連費

➡ より多額の預託在庫を求める日本の商慣習